※事故の程度が「死亡」又は「障害残存の可能性がある（高い）」事例のみ

			事故の内容																			
			総件数	点滴漏れ	切断・破損	破損	閉塞	接続外れ	接続間違い	ルートクランプエラー	三方活栓操作間違い	誤作動	空気混入	自然抜去	自己抜去	指示出し忘れ	使用中の点検・管理ミス	ドレーン・チューブ類の不適切使用	その他のドレーン・チューブ類の準備に関する内容	その他のドレーン・チューブ類の使用に関する内容	その他のドレーン・チューブ類の管理に関する内容	その他のドレーン・チューブ類の使用・管理の指示に関する内容	不明
医療機器の分類と事故の程度	動脈ライン	死亡	0																				
		障害残存の可能性がある（高い）	0																				
	中心静脈ライン（2件）	死亡	0																				
		障害残存の可能性がある（高い）	2							1										1			
	気管チューブ（4件）	死亡	1																	1			
		障害残存の可能性がある（高い）	3																	2		1	
	気管カニューレ（1件）	死亡	1																	1			
		障害残存の可能性がある（高い）	0																				
	尿道カテーテル（1件）	死亡	0																				
		障害残存の可能性がある（高い）	1																	1			
	胸腔ドレーン（3件）	死亡	1																	1			
		障害残存の可能性がある（高い）	2																	2			
	末梢静脈ライン	死亡	0																				
		障害残存の可能性がある（高い）	0																				
	栄養チューブ（NG・ED）（1件）	死亡	1																	1			
		障害残存の可能性がある（高い）	0																				
	腹腔ドレーン	死亡	0																				
		障害残存の可能性がある（高い）	0																				
	硬膜外カテーテル	死亡	0																				
		障害残存の可能性がある（高い）	0																				
	脳室・脳槽ドレーン	死亡	0																				
		障害残存の可能性がある（高い）	0																				
	皮下持続吸引ドレーン	死亡	0																				
		障害残存の可能性がある（高い）	0																				
	血液浄化用カテーテル・回路	死亡	0																				
		障害残存の可能性がある（高い）	0																				
	その他のドレーン・チューブ類（3件）	死亡	2																	2			
		障害残存の可能性がある（高い）	1											1									